

し

アゲイン

#1 「ステイ・ウィズ・ミー・ティル・ドーン」



人物紹介

主人公(♂)

名前: 草薙タイガ (Taiga Kusanagi)
呼称: リーダー
肩書き: クレイドル隊 総長
階級: 上級大尉

元極東支部第一部隊長。
現在はその職務を同僚の藤木コウタに委譲し、機密事項の多い雨宮リンドウに代わりフェンリル本部や他支部との外交任務を務め、神機使いとしても支部連合の合同作戦に参加するなど多忙な日々を送る。
クレイドル隊創設以前より世界各地の支部と交流し良好な信頼関係を構築する一方、かねてより極東に不信感を抱くフェンリル上層部を始め、極東に悪感情を持つ者達からは目の敵にされており、彼らとの折衝に苦心している。
アリサとは3年前から恋人関係で現在も関係は良好ながらお互い職務の忙しさに追われてあまり会うことが出来ずにいる。



主人公(♀)

名前: 天羽レオナ (Leona Amou)
呼称: 副長
肩書き: クレイドル隊 副長
階級: 中尉

元極東支部第一部隊副長。現在も非常勤隊長補佐という形で形式的には第一部隊にも所属する。
クレイドル隊や第一部隊の業務を細胞で切り盛りする傍ら、神機使いの育成に力を入れており、現在正式な教導員の資格を取得する為に勉強中。
雨宮ツバキ譲りの厳しい指導で教え子達から恐れられる一方一人一人と真摯に向き合う姿勢や、任務外では面倒見の良い温厚な性格のため、慕う者も少なくない。
他支部への出張が多く、極東に居る恋のコウタや友人たちとは会う機会が減ってしまい、本音では寂しさを感じている主人公(♂)とは、同じ孤児院で育てられた幼馴染み。



こんにちは、ウチガです

本書を手に取って頂きありがとうございます

今回の話はGE2の時系列でのアリサとGEB主人公に焦点を置いた長編の第1話となります。
昨年発行の「約束」の続編でもあり、過去作の「ネムレナイヨル」の要素も含んだシリアス寄りのやや重い話になります。
「約束」でアリサと主人公の話は一応の区切りを付けたつもりでいたんですが
GE1以前のアリサが極東に来る前の話とか、オオグルマ先生との決着とか
公式のメディアミックスでは不完全燃焼を感じた部分もありましたので、そこらも絡めて描いてみたいと思った次第です
いつまでアリサ描いてんだ、いい加減GE2の新しい子も描きなさいよ！とそろそろお叱りを受けそうな気もしますが
アリサはかわいいなあ！もっとエロい事したいなあ！という内なる声には抗えなかったのですよ…
少々長い道のりになりそうですが完結できる様、頑張りたいと思います

お読み頂く前にいくつか注意事項を

上記の主人公についてはGE/GEBの主人公です。どちらも2の主人公ではありません

何故か男女二人居ますが…作者の完全な趣味です。一応、男の方がメインです

今回、必要に迫られて設定上では固有名を出す事に踏み切りましたが、過去作同様、基本的にリーダー／副長呼びです

2時系列での話を描くにあたり、人物紹介にもあるように設定を結構捏造しております

一応、公式漫画で欧州に出張という話が開示されているのでその設定だけ頂いています

それと今回、冒頭でもちらっと出てますが、今作では主人公だけでなく、共闘するモブ神機使いとかフェンリルの上層部とか極東外に広げて話を作る関係上、オリジナル要素が今まで以上に強くなります
そう言う類の二次創作に強く抵抗を感じる方もいらっしゃるかと思います
極力抑えめにと行きたい所ですが、話の都合上、全く出さないわけにも行かない部分もございますので
あらかじめご了承下さい

なんだか注意書きばかりになってしまってすみません
完結までお付き合い頂ければ幸いです

2014.11. ウチガ

…この作戦は歐州圏のみならず
人類全体の存続を賭けた
一大決戦である

については
精強で名を馳せる極東の
神機使い諸君の力を
是非ともお借りしたい

厳しい戦いとなるだろうが…

#1「ステイ・ウィズ・ミー・ティル・ドーン

良い返答を期待している…



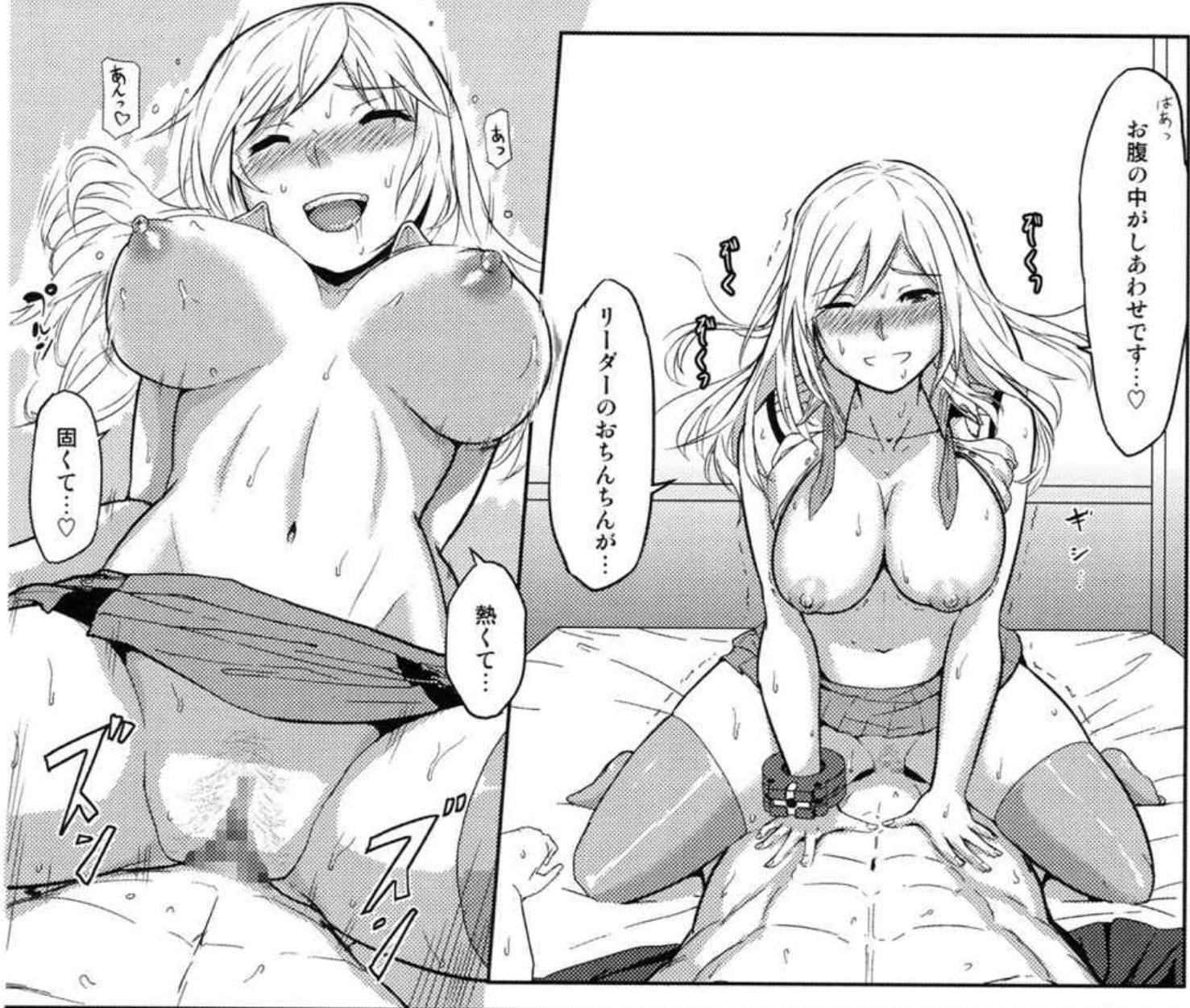
8



















この顔が見れて
良かった

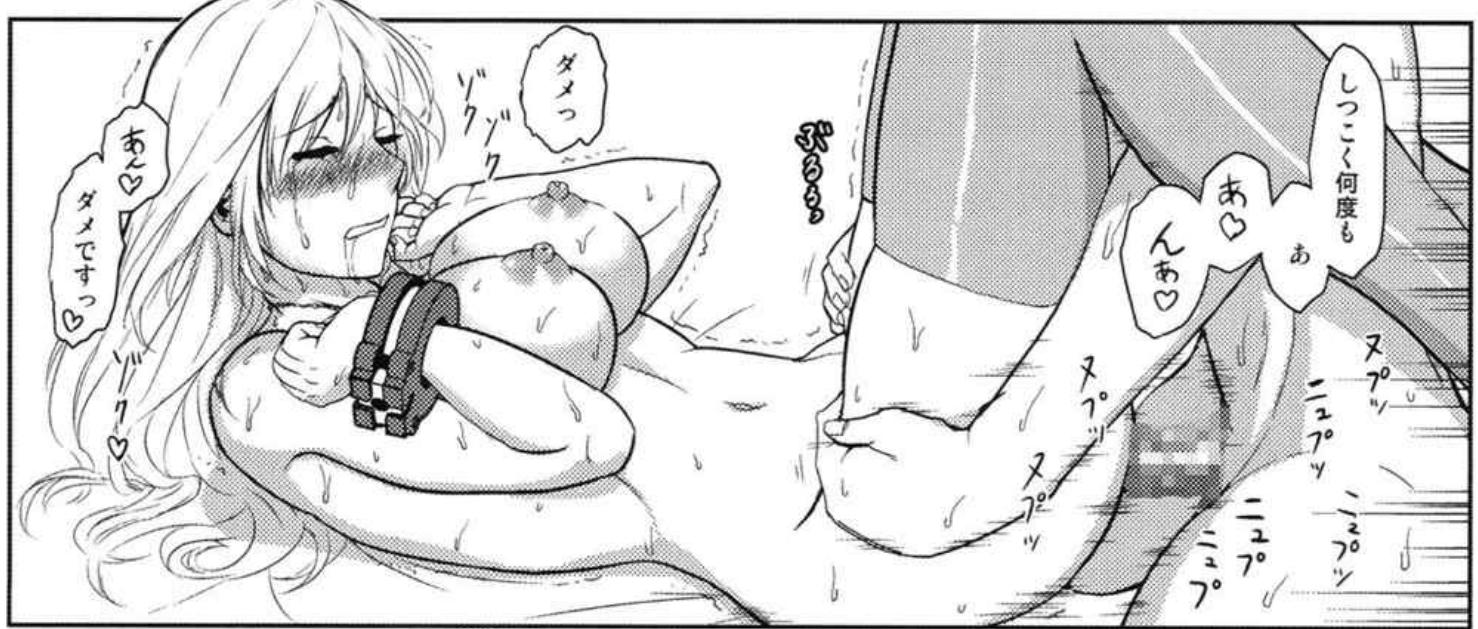
…ここを発つ前に





19









あああ

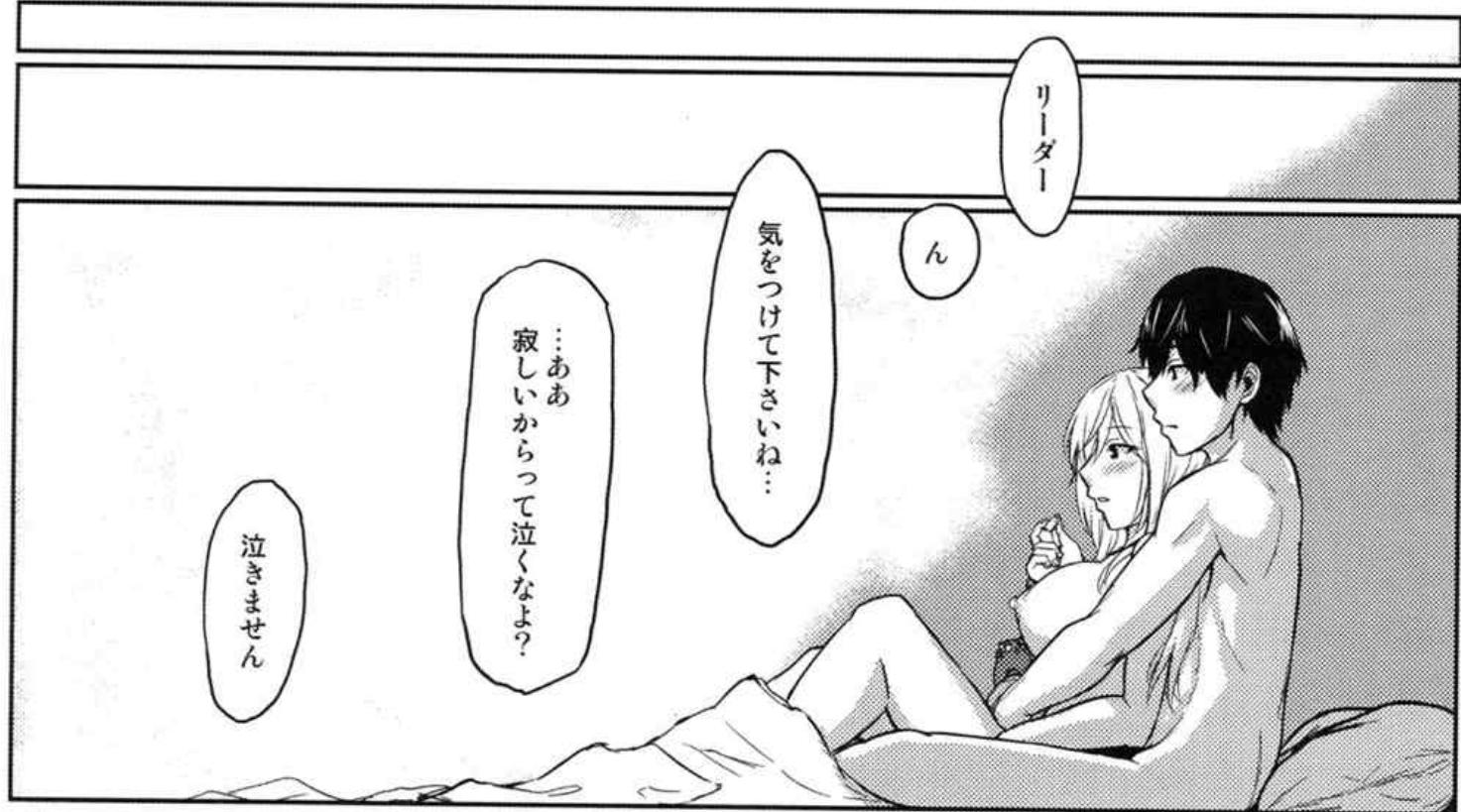
ゾク
リク。

ああ

ビュ

ドパン

ドビュ









こうして：
あの人は遙か遠い地へと
旅立つて行きました

昇る太陽に背を向けて
飛び去つて行く黒い機影を
私は、その姿が
見えなくなつてしまふまで
見送りました

それから数ヶ月後：

欧洲から帰投した
その機体に：
あとの人の姿は
なかつたのです



慌ただしく過ぎゆく日々の中
あなたが居ないことをふと想う
呼び覚まされた記憶のカケラ
深く、深く刻み込まれた絶望と



忘れ得ぬ、温もり



#2「フラッシュバック・メモリーズ」

お読み頂きありがとうございました

昨今のGEについては原作も含め色々とモヤモヤ感を抱く部分がないと言えば嘘になるんですが
そのモヤモヤ感がこの話を始めたきっかけでもあったりします

公式はアニメ化等でいろいろ動いてますが、こっちは付かず離れずで

まあ、言ってしまえばゲームですし、好きなスタンスでに楽しめれば良いかなアと思う次第でございます

それでは、次回の本でお会いできれば幸いです

ウチガ

奥付

『アゲイン #1 ステイ・ウィズ・ミー・ティル・ドーン』

2014年12月30日発行

発行: Lithium

著者: ウチガ

印刷: 緑陽社様

Pixiv: <http://www.pixiv.net/member.php?id=209542>

WEB: <http://lithiumia.web.fc2.com>

Attention!!

本書の未成年者の購読・所持及び、未成年者への販売・譲渡等の行為を固く禁じます

本書の内容を無断で転載・共有・改竄する等の行為はお止め下さい

アゲイン

#1「ステイ・ウィズ・ミー・ティル・ドーン」



Lithium
2014 WINTER
FOR ADULT ONLY